

すべて検索 | 博士論文のみ検索 | 貴重書のみ検索

本文を検索対象に含める

研究成果が多様化する時代における 機関リポジトリの役割 —大阪大学の取組みと課題—

コンテンツ一覧

学内刊行物 | 資源タイプ

- ▶ 人文学研究科 (旧文学研究科)
- ▶ 人間科学研究科
- ▶ 法学研究科
- ▶ 経済学研究科
- ▶ 理工学研究科

大阪大学学術情報庫 OUKA

大阪大学学術情報庫 OUKA (Osaka University Knowledge Archive) は大阪大学の機関リポジトリです。大阪大学の教育研究活動で生成された学術的・教育的成果を、広く公開するサービスで、誰でも閲覧・ダウンロードが可能です。

大阪大学附属図書館

甲斐尚人

- OUKAについて
- 大阪大学刊行物 (研究科等)
- 著作権・利用条件について
- リンク集

大阪大学学術情報庫
オウカ

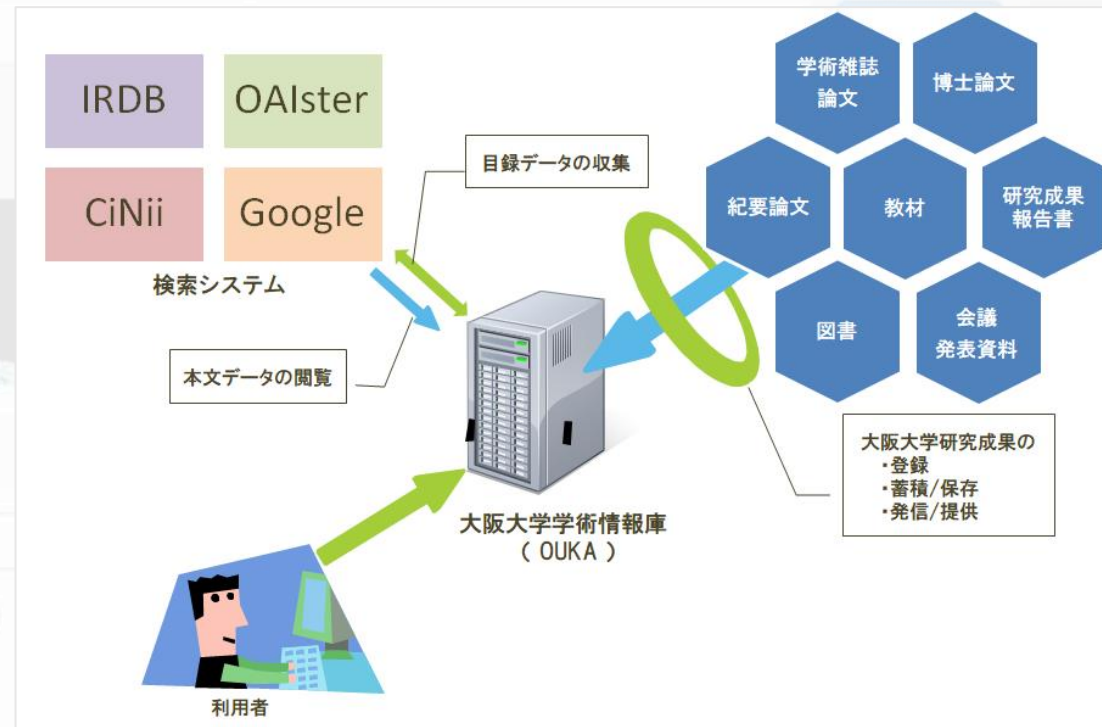
OUKA News Letter

研究成果の多様化と機関リポジトリ

■ 機関リポジトリ

誰でも無償で本文まで閲覧でき、機関に所属する教員が研究成果を公開することができる。インターネットを通じて世界中の誰もが、いつでも大学などの学術成果を自由に無料で見られるようにすること（オープンアクセス）を目的に構築されている。

オープンサイエンスの観点から**研究データも主要な研究成果の一つ**になってきている。



+

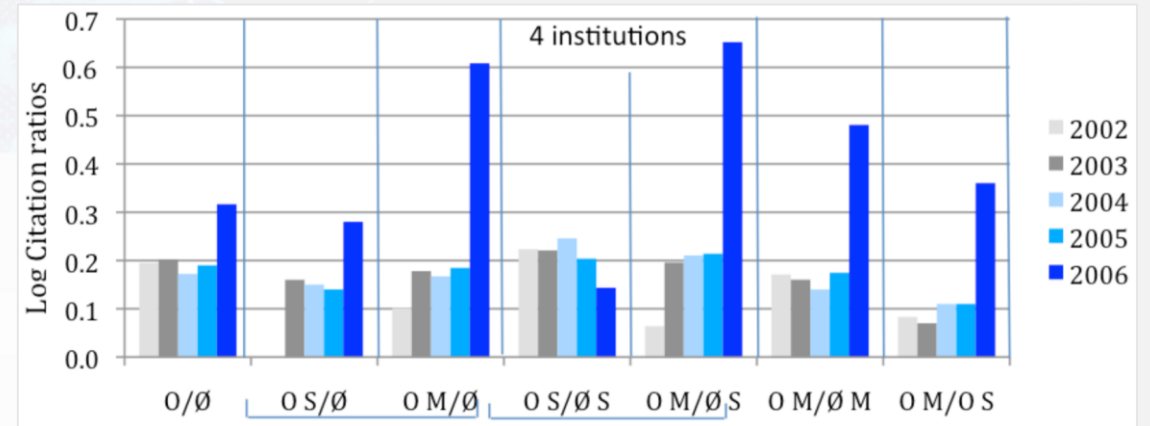
研究データ

オープンアクセスのメリット

これまで多くの研究によって、論文のオープンアクセス化によって被引用数への良い影響を与えることが明らかになっている。

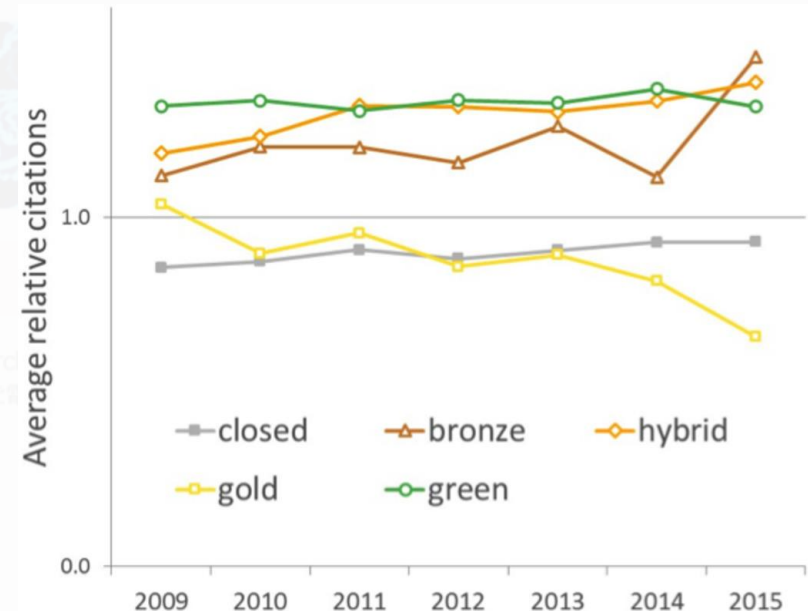
- Gargouri, Yassine et al. "Self-Selected or Mandated, Open Access Increases Citation Impact for Higher Quality Research." PLOS ONE, vol. 5, no. 10, 2010, e13636.

- ✓ Open Access vs Non-Open Access
- ✓ Open Access (Mandated) vs Open Access (Self-Selected) など



- Piwowar, Heather et al. "The State of OA: A Large-Scale Analysis of the Prevalence and Impact of Open Access Articles." PeerJ, vol. 6, 2018, e4375.

- ✓ GoldOA論文にもGreenOAが効果的
- ✓ e.g. GoldOA読者は最新論文に着目する傾向があり、出版からしばらく経つと被引用数が下降気味の可能性



既にOA化されている論文に対しても機関リポジトリで公開（グリーンOA）することでさらに被引用数に良い影響をもたらすことも明らかになっている。

機関リポジトリへの掲載による効果の例

- ✓ 京都大学の機関リポジトリ（研究成果の管理・利活用システム）KURENAIで公開された論文は、すでにオープンアクセスとなっている論文についても、KURENAIで公開されていない論文と比較し、より多く引用されている。
との分析結果あり。

		被引用数	
		平均	論文件数
OA誌の論文*	KURENAIなし	4.95	7289
	KURENAIあり	7.06	3917
ハイブリッド誌のOA論文**	KURENAIなし	10.5	3292
	KURENAIあり	10.0	594

*論文をすべてOAとしている雑誌に掲載されている論文

**購読型雑誌でAPCを支払うことでOA化された論文

出典：西岡千文,北村由美. オープンサイエンスと大学図書館. 2021. <http://hdl.handle.net/2433/263909>
を基に内閣府作成

オープンアクセスで先行する欧州の動向

ーカロリンスカ研究所（大学図書館、RDO）@スウェーデンー



Open Access in context

- Research bill adopted by Swedish Parliament in 2020
 - The government makes it clear that “scientific **publications** which are the result of publicly funded research must be immediately openly accessible starting in 2021.” [Research bill](#)
- National Library of Sweden Government directive
 - In 2017 the National Library was mandated by the Swedish government to coordinate the work towards open access to scientific publications in Sweden. [Government directive](#).
- cOAlition S/Plan S
 - “With effect from 2021, all scholarly publications on the results from research funded by public or private grants provided by national, regional and international research councils and funding bodies, must be published in Open Access Journals, on Open Access Platforms, or made immediately available through Open Access Repositories without embargo.” [Plan S](#). (Plan S will not provide financial support to transformative agreements after 2024.)
- White House Office of Science and Technology Policy
 - “Eliminating the optional 12-month publication embargo for federally funded peer-reviewed research articles”. (As of 2026) [OSTP policy](#)

Ki図書館訪問時の取り組み紹介資料より（掲載許可あり）

Open access at Karolinska Institutet_studiebesök från Japan_2023-03-23

オープンアクセスで先行する欧州の動向

ーカロリンスカ研究所（大学図書館、RDO）@スウェーデンー



Open access requirements for KI's largest research funders



- **Vetenskapsrådet:** Immediate (as of October 2022)
- **Europeiska unionen:**
 - Horizon Europe: Immediate
 - Horizon 2020: 6 months
- **Cancerfonden:** Immediate if possible, according to KI:s open access policy
- **Wallenbergs stiftelser:** Immediate if possible, according to KI:s open access policy
- **Forte (Plan S/Coalition S):** Immediate

10 st
exkl
Verk
Veten
Europ
Canc
Walle
Forte
barr
Regio
Hjärt
Kung
Stiftel
Övrig
Total
KMI: UI

Open access at KI, year 2021

Total number of publications: 7912, whereof 6302 open access

- 80% OA
 - 39% gold
 - 30% hybrid
 - 11% green
 - 19% closed
 - 1% unknown



Ki図書館訪問時の取り組み紹介資料より（掲載許可あり）

Open access at Karolinska Institutet_studiebesök från Japan_2023-03-23



オープンアクセスの国内の状況

APCの費用負担①

■各大学におけるAPC支払推定金額

著者所属機関別(2020年)

順位	機関名	公表論文数	OA論文数				APC支払推定額(円)		
			Full OA	Hybrid OA	Bronze OA	OA率	Full OA	Hybrid OA	合計
1	東京大学	4,624	1,125	408	343	41.1%	253,846,106	103,282,506	357,128,612
2	京都大学	3,416	775	226	224	38.6%	161,332,544	61,359,336	222,691,880
3	東北大学	2,628	571	202	242	36.5%	121,427,432	51,613,263	173,040,695
4	大阪大学	2,624	625	229	207	38.2%	133,583,913	61,886,988	195,470,901
5	北海道大学	2,105	485	135	141	37.2%	100,459,911	35,850,109	136,310,020
全機関合計		81,358	14,685	4,119	11,612	41.2%	4,146,035,524	1,577,414,020	5,753,801,024

出典：大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE). 論文公表実態調査報告2021年度.

https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/justice/2022-08/2021_ronbunchosa_0_20220818rev.pdf

日本を取り巻く最近の動向

■G7科学技術大臣コミュニケ @仙台（2023年5月12日-14日）

- G7 は、FAIR 原則に沿って、科学的知識並びに研究データ及び学術出版物を含む公的資金による研究成果の公平な普及による、オープン・サイエンスの拡大のために協力する。
- 公的資金による学術出版物及び科学データへの即時のオープンで公共的なアクセスを支援し、適切な科学的成果のより広範な共有のための学術出版における課題に対処する科学界の努力を支持する。

（1.科学研究における自由と包摂性の尊重及びオープン・サイエンスの推進）

■G7広島首脳コミュニケ（2023年5月20日）

- G7 は、FAIR 原則に沿って、科学的知識並びに研究データ及び学術出版物を含む公的資金による研究成果の公平な普及による、オープン・サイエンスを推進する。これは、研究者や人々が恩恵を受けるとともに、グローバルな課題に対する知識、イノベーション及び解決策を創造することへの貢献を可能にする。（40. 科学技術）

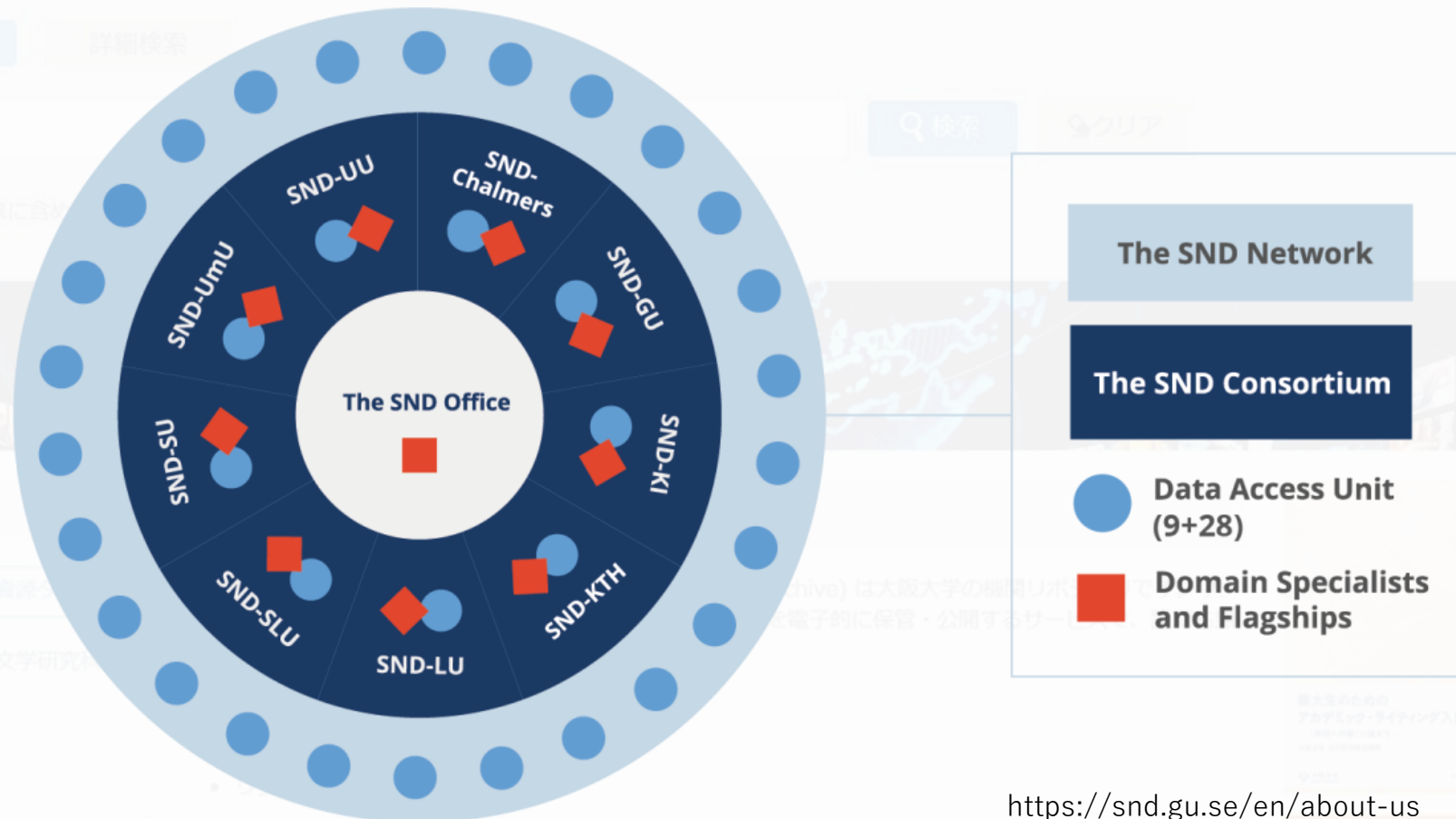
■統合イノベーション戦略2023

- G7 広島サミット及びG7 仙台科学技術大臣会合を踏まえ、我が国の競争的研究費制度における 2025 年度新規公募分からの学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた国の方針を策定する。（学術論文等のオープンアクセス化の推進）

研究データ公開の欧州（スウェーデン）の状況

－スウェーデン国立データサービス（SND）－

- 欧州は2026年から研究データの公開義務化。
- スウェーデンの場合はSND（スウェーデン国立データサービス）による公開を検討中。保存場所は各大学のローカルストレージを想定。（センシティブデータは特に）



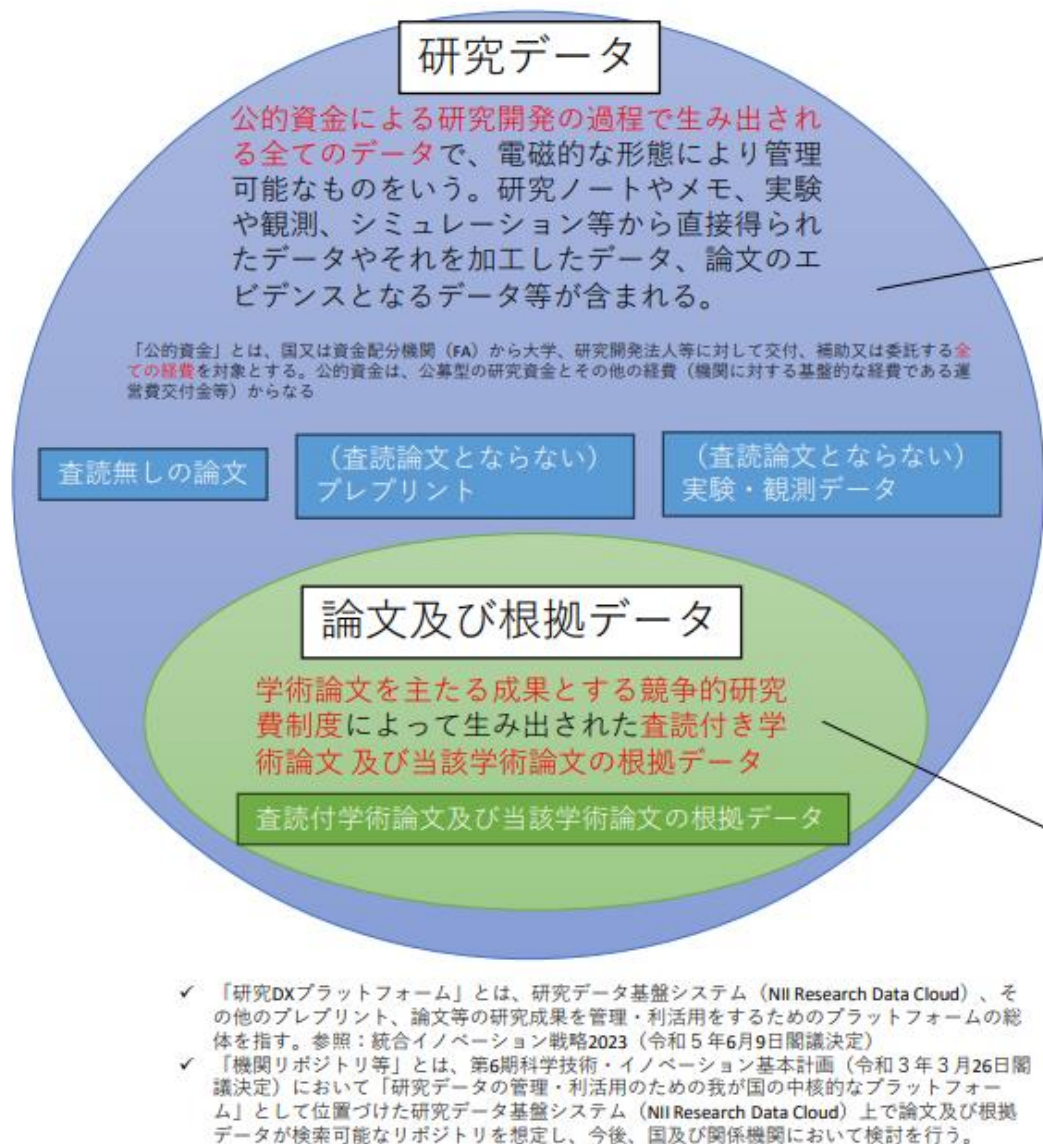
研究データ公開の欧州（スウェーデン）の状況

■カロリンスカ研究所、ウプサラ大学、スウェーデン農業大学

- 各自で機関ストレージ（KI Open Archive、DiVA、SLUPub）を所有
- 研究データはSNDのシステム（DORIS）でメタデータを記述し公開
データそのものはSND経由でローカルストレージ上（DAU）に保存
 - ✓KIはデータOA義務化による急速な容量増加に備えて、中央ストレージを開発中
 - ✓ウプサラ大学、SLUはストレージ計画は未定。

FAIR原則に対応するため、論文公開用の機関リポジトリとデータ公開用リポジトリ（SND）を分けている

公的資金による学術論文等のオープンアクセスと研究データの管理・利活用の関係性



「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」（2021年4月 統合イノベーション戦略推進会議決定）

- ✓ NII RDCを中核的なプラットフォームとして位置づけ、メタデータを検索可能な体制を構築
- ✓ オープン・アンド・クローズ戦略に基づく公開・共有・非公開/非共有の設定
- ✓ 研究者は管理対象データの特定とメタデータの付与
- ✓ 公募型の研究資金へのメタデータ付与の仕組みの導入
- ✓ 大学等の機関におけるデータポリシーの策定等

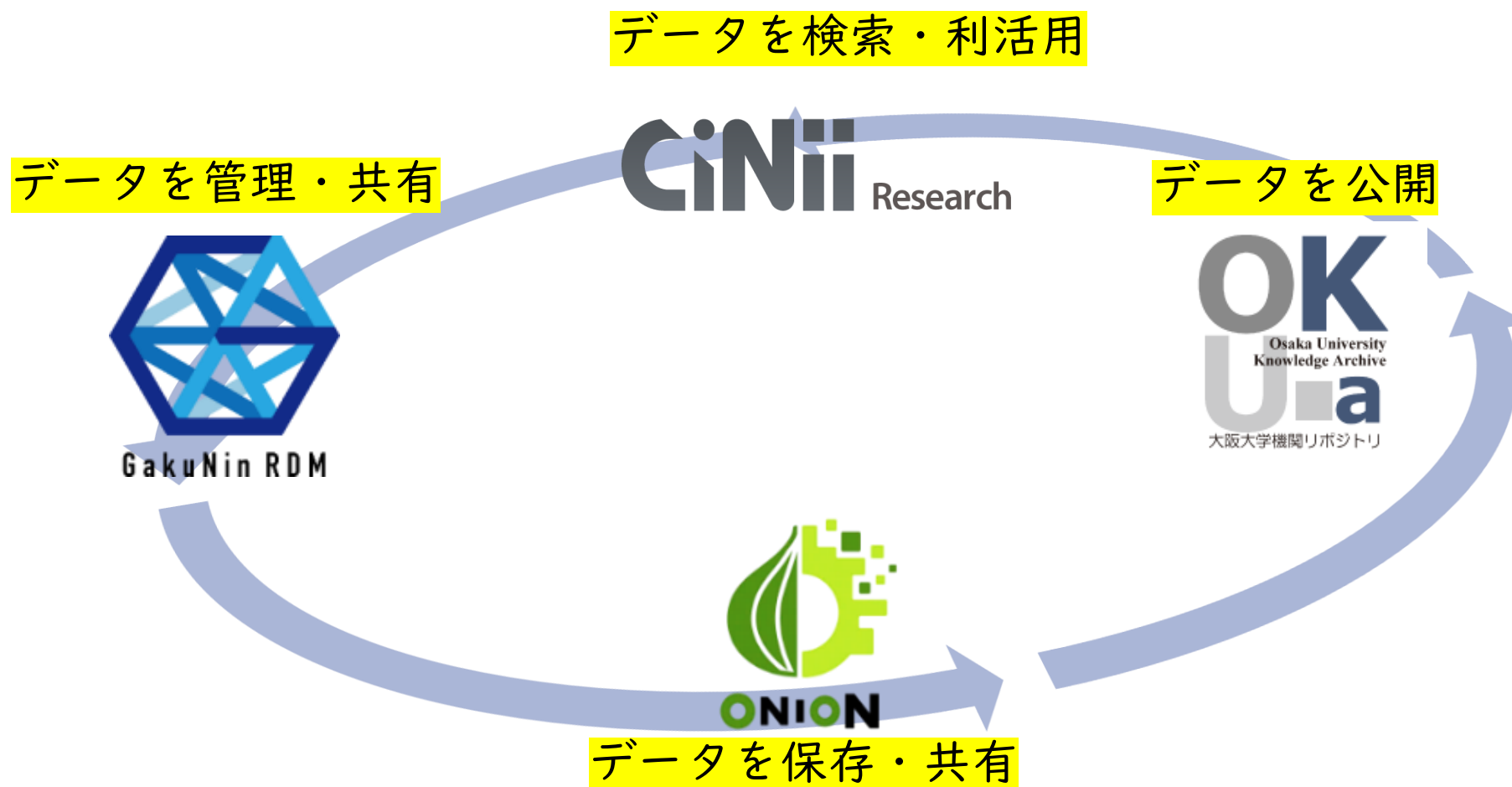
「公的資金による学術論文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な考え方」（2023年10月 CSTI有識者議員とりまとめ）

→その後政府として決定予定

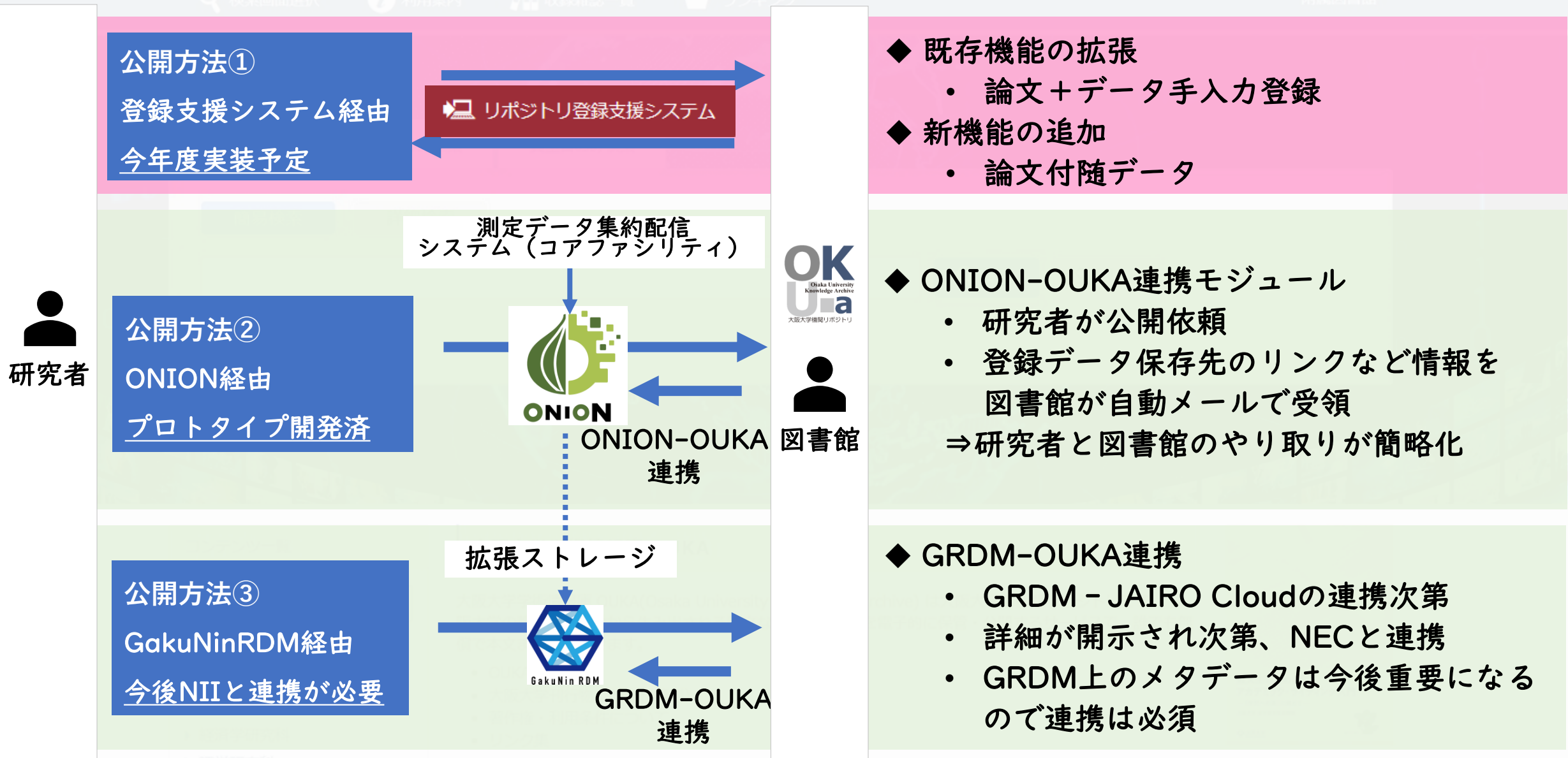
- ✓ 学術論文を主たる成果とする競争的研究費を受給する者（法人を含む。）に対し、論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等への掲載を義務づける。
- ✓ 研究成果を誰もが自由に利活用可能とするための発信手段として、研究DXプラットフォームを整備・充実させる。
- ✓ 大学等における機関リポジトリ等の価値向上、成果発信力の強化を行う。等

大阪大学の研究データ基盤連携

- ◆ 研究データサイクルの一巡化を実現する各基盤連携の例
(GakuNin RDM・ONION・OUKAの連携)



研究データ公開に向けた大阪大学の取り組み



リポジトリ登録支援システム

リポジトリ登録支援システム
Repository Deposit System

HOME

[このシステムについて](#) About this system **New! (2022.5.18)**

絞り込み条件 Filter

論文の状態 Article processing status ?

OUKA未登録 No registration OA論文 OA article 図書館
 図書館処理中・適用例外申請中 Deposit/Exemption in process

タイトル Title DOI

出版社著作権ポリシー Publisher's Copyright Policy ?

「提出版」登録可 Submitted Version 「アクセプト版」登録可 Accepted Manuscript

ソート順 / Sort by 20件表示 / 20 per page

1 - 20件 / 42件

OUKA未登録 No registration
Magnetic phase transition and anisotropy of ultrathin Fe films grown on GaAs(111)B
DOI 10.1063/1.1667432 掲載誌 JOURNAL OF APPLIED PHYSICS 出版社 AMER INST PHYSICS
適用例外申請日

OUKA未登録 No registration
Thickness dependence of magnetic state of Fe thin films grown on GaAs(111)B
DOI 10.1016/j.stam.2003.09.008 掲載誌 Sci. Tech. Adv. Mat. 出版社 出版年 2003

リポジトリ登録支援システム
Repository Deposit System

ログアウト / Logout

HOME > Article information

タイトル Title	Epitaxial growth of binary and ternary metallic strained superlattices and their magnetic properties
収録誌情報 Journal Title / Vol. / No. / Pages	SCIENCE AND TECHNOLOGY OF ADVANCED MATERIALS 2(2) 331-347
DOI	10.1016/S1468-6996(01)00013-4
出版社著作権ポリシー Publisher's Copyright Policy	Elsevier Submitted Version ○ Accepted Manuscript ○(*) Version of Record ×
論文ファイル Fulltext File	参照... ファイルが選択されていません。 論文の版 / Version of file アップロード / Upload

管理者問合せ Inquiry

問合せ / Inquiry

ヘルプ Help

- 利用ガイド
- User Guide

論文の状態 Status

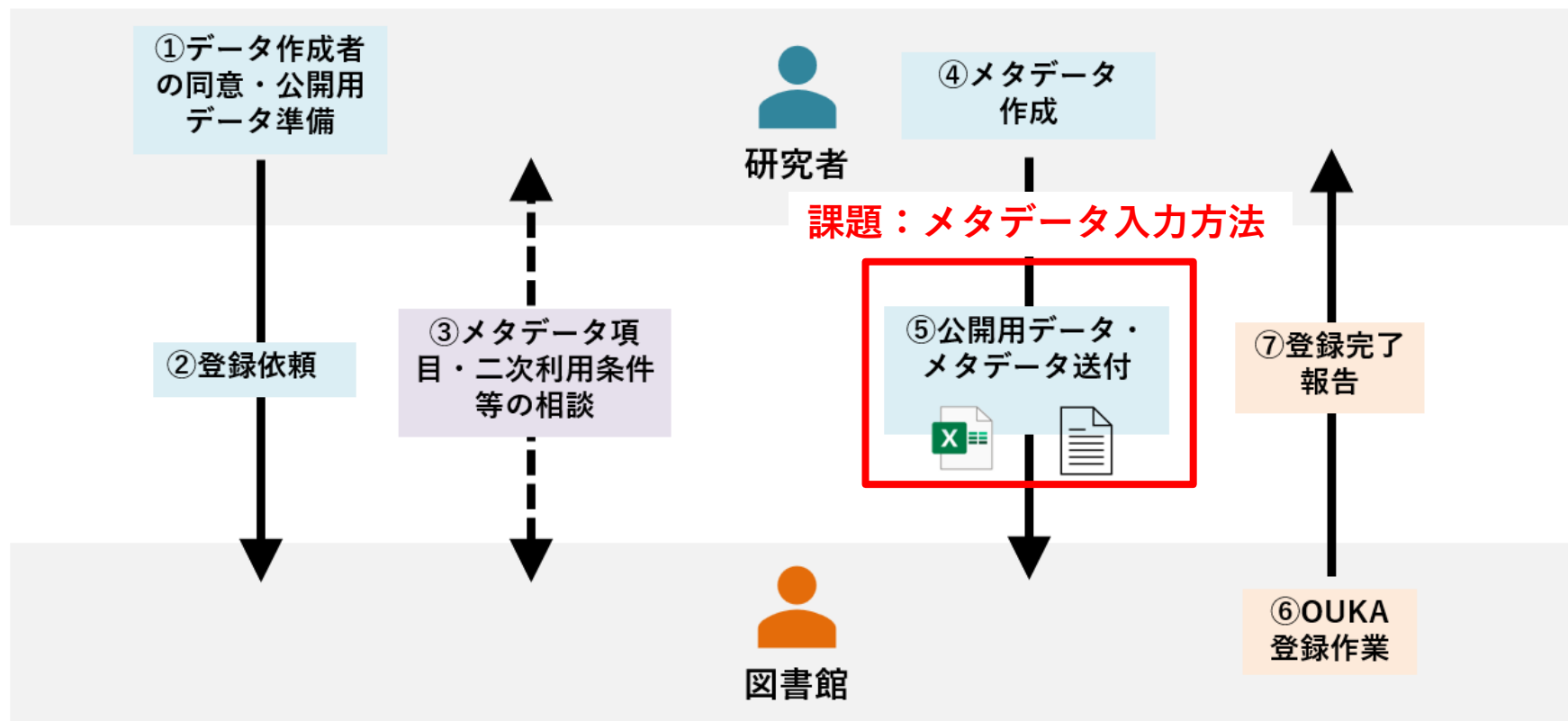
OUKA未登録 No registration

適用例外申請 / Request exemption OUKA登録依頼 / Request deposit

researchmap

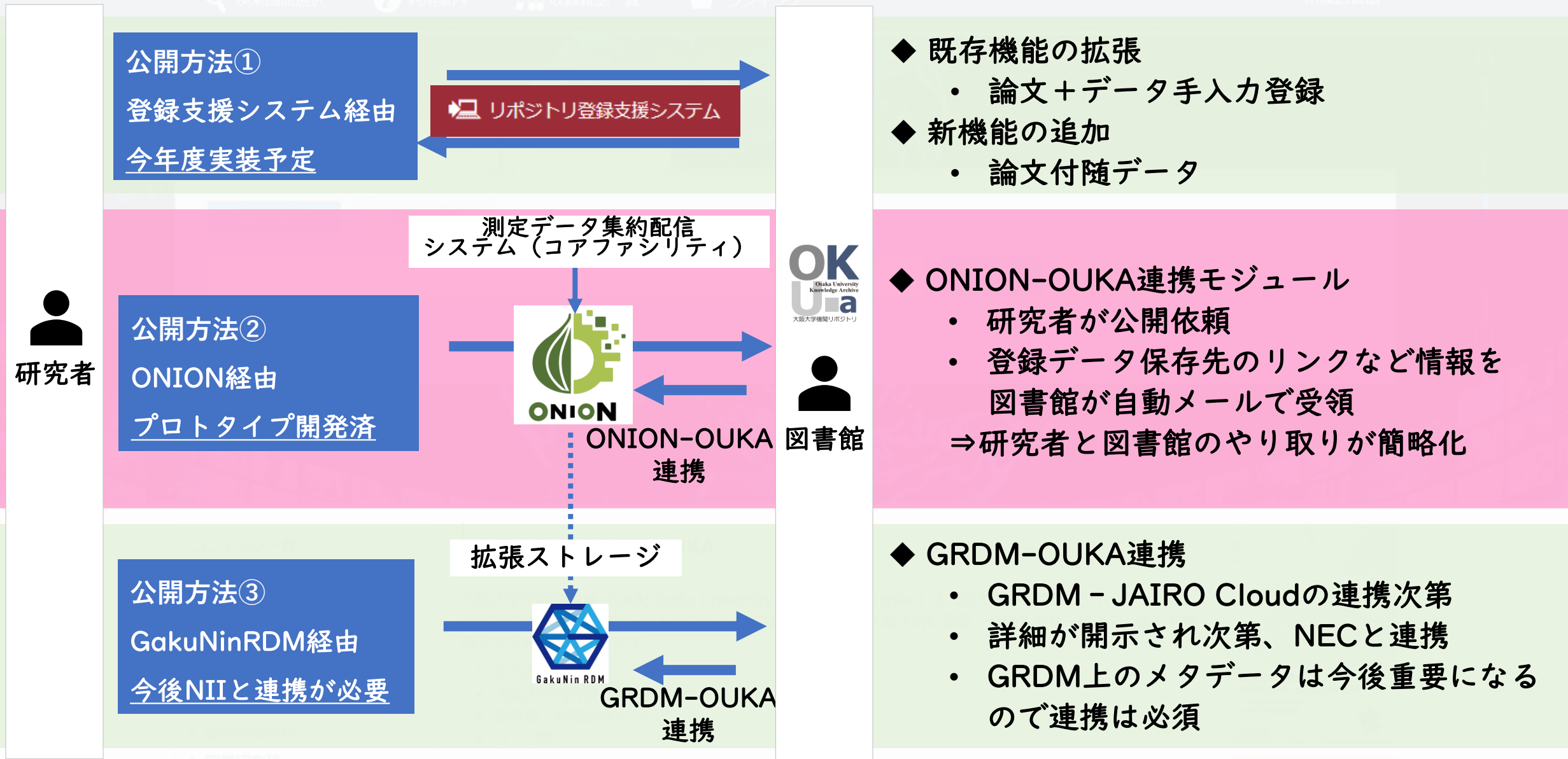
タイトル(英語) Epitaxial growth of binary and ternary metallic strained superlattices and

OUKAで研究データを公開する

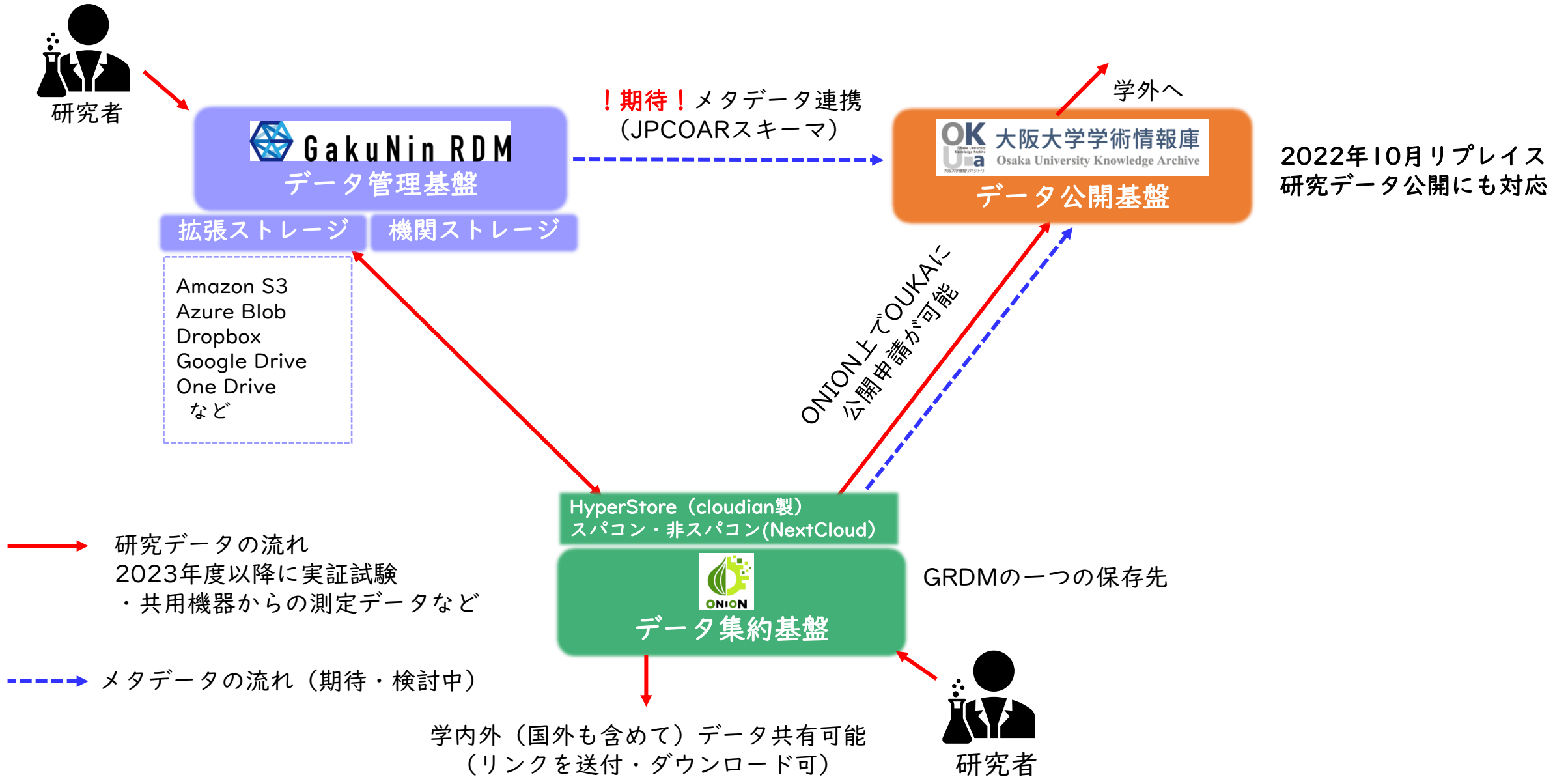


OUKAでの公開手順図(2023年10月現在)

研究データ公開に向けた大阪大学の取り組み



基盤連携 (ONION-OUKA)



ONION - OUKA連携モジュール (プロトタイプ)

(高性能計算・データ分析融合基盤協働研究所)

ホレー
のみ)

！期待！メタデータ連携
(JPCOARスキーマ)

ージ

学外へ

OK 大阪大学学術情報庫
Osaka University Knowledge Archive

データ公開基盤

ONION上でOUKAに
公開申請が可能

S3

HyperStore (cloudian製)
スパコン・非スパコン (NextCloud)



データ集約基盤

GRDMの一つの保存先



研究者

(国外も含めて) データ共有可能
リンクを送付・ダウンロード可)

ONION側 (研究者)

☆ ONION-OUKA 11.7 MB, 数秒前

共有 公開申請

大阪大学の機関リポジトリ"OUKA"での公開を申請します。

申請者名
[Redacted]

メールアドレス
[Redacted]

備考
[Redacted]

公開申請

OUKA側 (図書館職員)

ONIONからの公開申請 (2023/04/13 17:05)

Nextcloud <sq-alert@hpc.cmc.osaka-u.ac.jp>
宛先 [Redacted]
CC [Redacted]

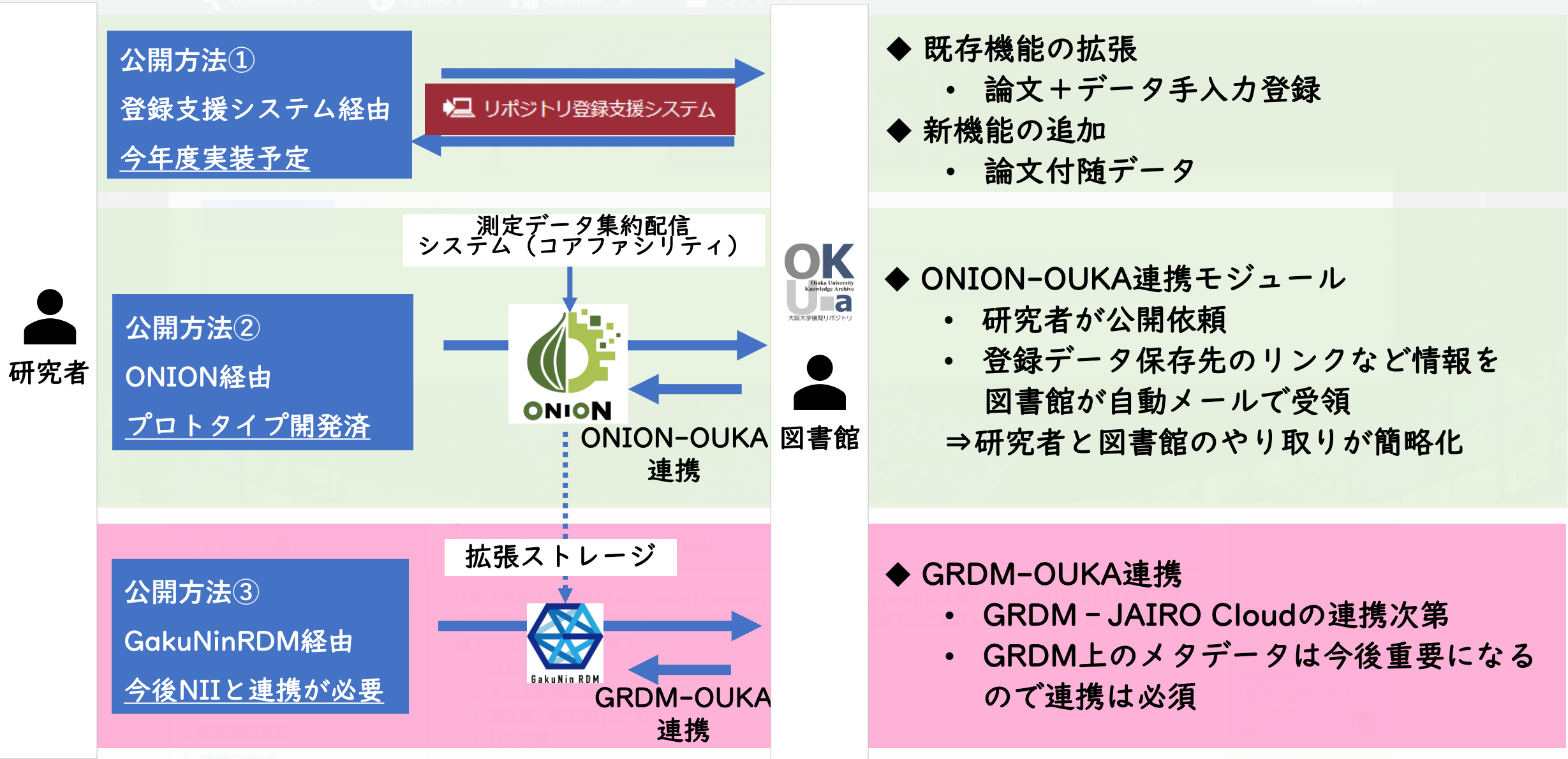
① このメッセージの表示に問題がある場合は、ここをクリックして Web ブラウザーで表示してください。

- 申請者名: [Redacted]
- 申請者メールアドレス: [Redacted]
- 共有リンク:
<https://133.1.66.172/nextcloud/index.php/s/bgbD36xy>
- 共有アイテム名: mydata.tgz
- パスワード: mHzsFaqHwJ
- 備考:
XXX論文のXXXXデータです。

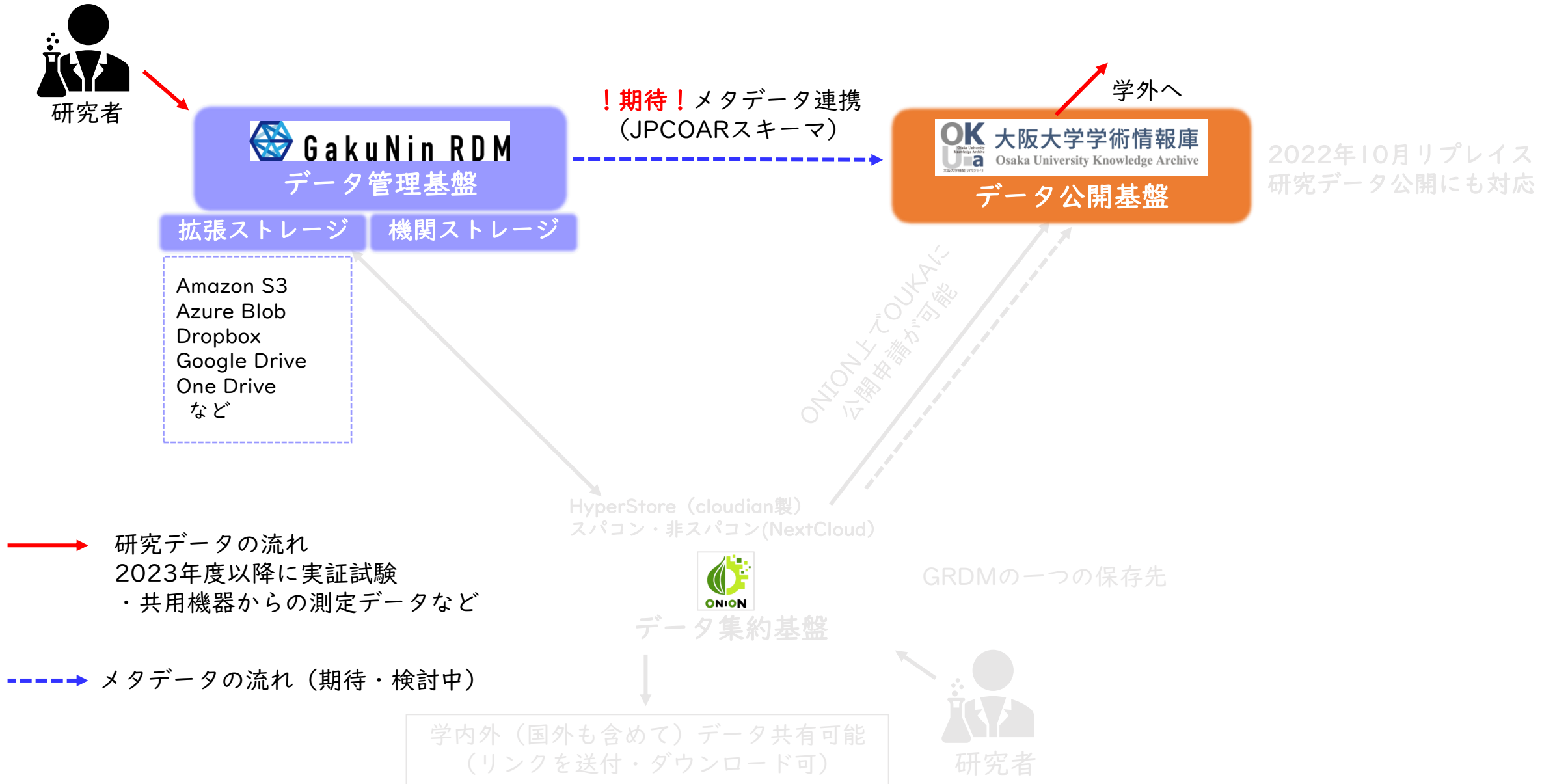
上記の研究データの公開を申請します。

課題: メタデータ転送

研究データ公開に向けた大阪大学の取り組み

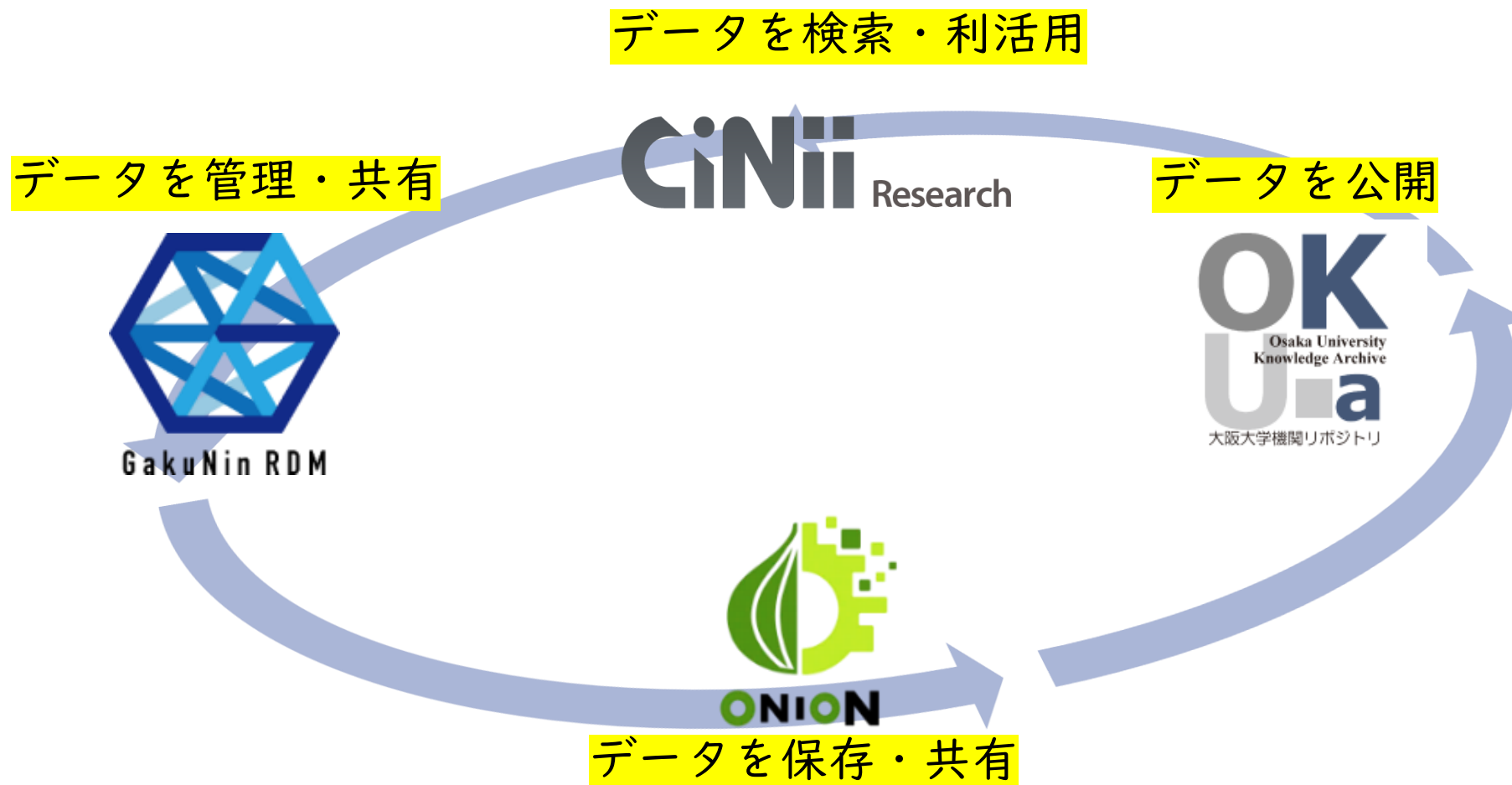


基盤連携 (GakuNinRDM – OUKA)



大阪大学の研究データ基盤連携

- ◆ 研究データサイクルの一巡化を実現する各基盤連携の例
(GakuNin RDM・ONION・OUKAの連携)



すべて検索

博士論文のみ検索

貴重書のみ検索

簡易検索

詳細検索

ご清聴ありがとうございました

本文を検索対象に含める

コンテンツ一覧

学内刊行物

資源タイプ

- ▶ 人文学研究科 (旧文学研究科)
- ▶ 人間科学研究科
- ▶ 法学研究科
- ▶ 経済学研究科
- ▶ 理学研究科

大阪大学学術情報庫 OUKA

大阪大学学術情報庫 OUKA(Osaka University Knowledge Archive) は大阪大学の機関リポジトリです。大阪大学の教育研究活動から生み出される論文などの学術成果を電子的に保管・公開するサービスで、誰でも無償で本文まで閲覧できます。

- OUKAについて
- 大阪大学刊行物 (研究科等別)
- 著作権・利用条件について
- リンク集



OUKA News Letter